

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 (運動部活動の地域移行に向けた実証事業)

成果報告書



本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、滑川市が実施した滑川市地域連携部活動推進事業の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

1. 自治体の基本情報



基本情報 (R5年度)

人口	32,878人	部活動数	30部活
公立中学校数	2校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	827人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

●学校部活動指導体制

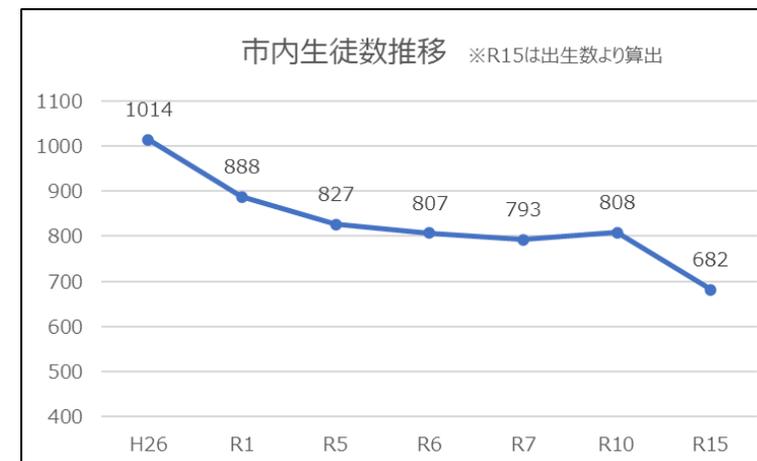
市内2つの中学校に全30の運動部が設置されており、15部でスポーツエキスパートや部活動指導員が指導に携わり、全国大会やブロック大会等に出場するなど成果を出してきた。一方で、年々生徒数の減少や在籍生徒の市内外のクラブチーム等への加入により、各部における部員数が減少しており、部によっては、単独で大会に出場することが難しい状況にある。また、生徒数の減少に伴う教員数の削減により、顧問の配置が難しい状況にもなっていると同時に、競技経験・指導経験のない教員が指導にあたるが多くなり、教員の負担感の増加にもつながっている。

●地域のスポーツ環境

市内には総合型スポーツクラブが1つあり、幅広い年齢層を対象とした教室等を開設している。しかし、年々加入者の減少傾向が続いており、各教室の指導者の確保についても年々難しくなっている。また、市内各競技団体等においては、スポーツ少年団等の既存のチームの指導や指導者の確保が厳しい状況等から、部活動の地域移行に伴う新たな体制づくりが難しい状況である。

●対応方針等

既存の学校部活動のみによる各スポーツの機会・環境の持続的な確保は厳しい実態から、学校を含めた地域で子どもたちを支え、育てる体制を整え、持続可能性の高いスポーツ環境整備を図る。

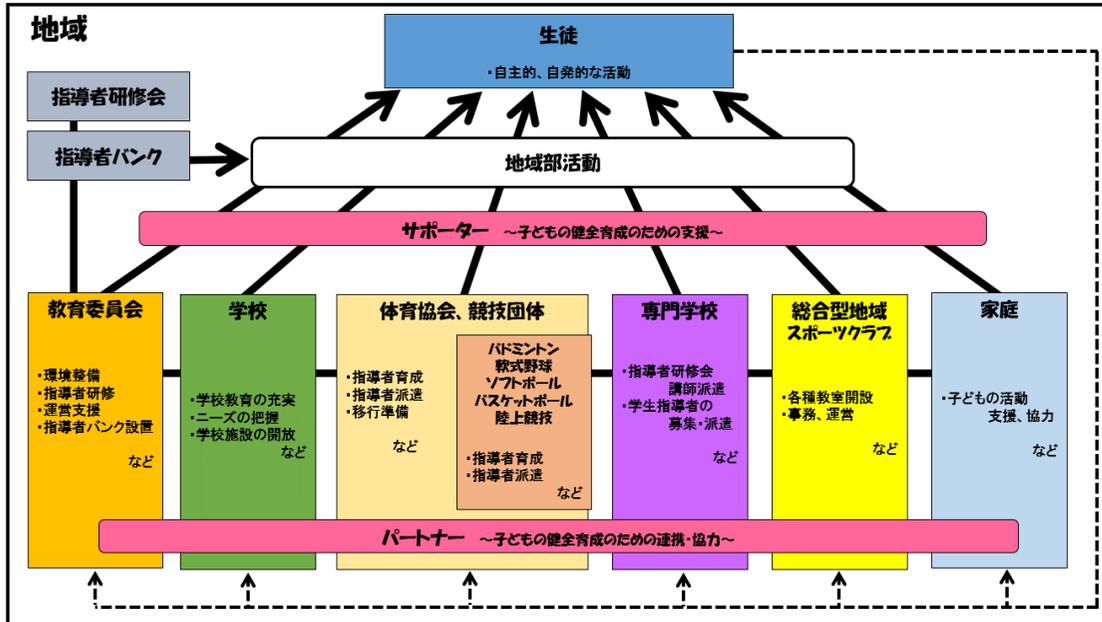


2. 実証内容と成果



運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



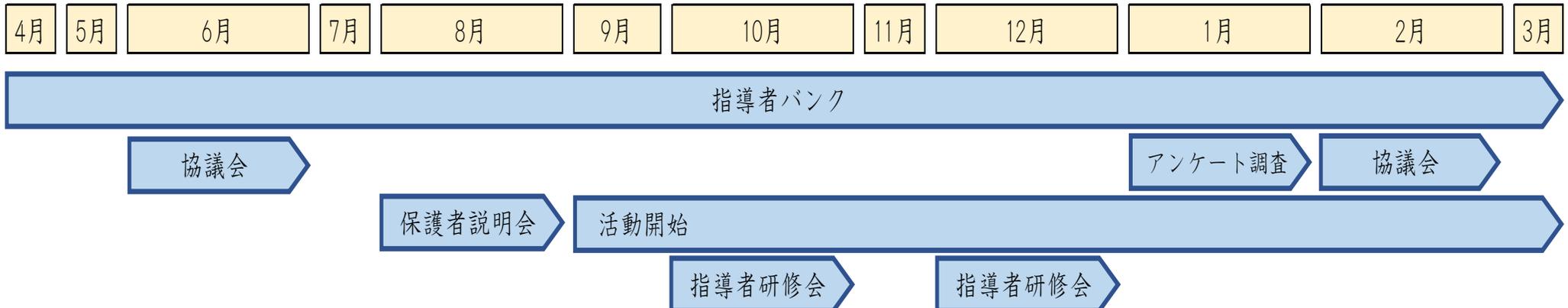
▼行政組織内での役割分担

● 教育委員会（生涯学習・スポーツ課）

○ 事務局

- ・事業設計
- ・保険加入、謝金支払い手続き
- ・学校や競技団体等との連絡調整
- ・指導者研修会の企画、運営
- ・指導者バンクの設置、管理
- ・活動状況の把握、スケジュール管理 等

年間の事業スケジュール



2. 実証内容と成果



地域スポーツクラブ活動の運営実績

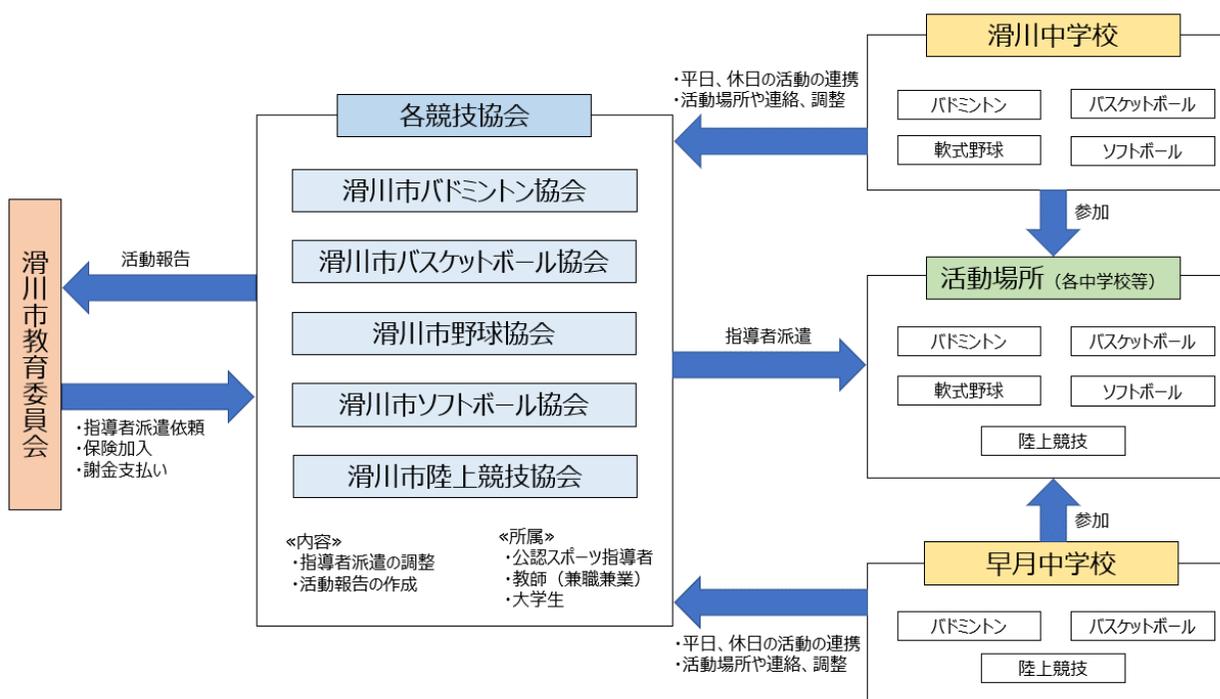
拠点校数	2校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	バドミントン、バスケットボール、軟式野球、ソフトボール、陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	10部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	滑川中学校、早月中学校
地域クラブ活動と連携した部活動数	6部活(滑川中学校) 4部活(早月中学校)
地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、バスケットボール、軟式野球、ソフトボール、陸上競技
運営主体名	滑川市教育委員会
運営類型	市区町村運営型(競技団体連携型)
1か月あたりの平均的な活動回数	全種目:月4回程度
指導者の主な属性	各競技協会員、兼職兼業教員
活動場所	市内中学校体育施設 市内体育施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	全種目:0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/年

▼運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



2. 実証内容と成果



取組内容

▼取組項目名:ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

実施主体の整備(バドミントン、軟式野球、ソフトボール、バスケットボール、陸上競技を対象にした地域指導者による指導体制の構築)

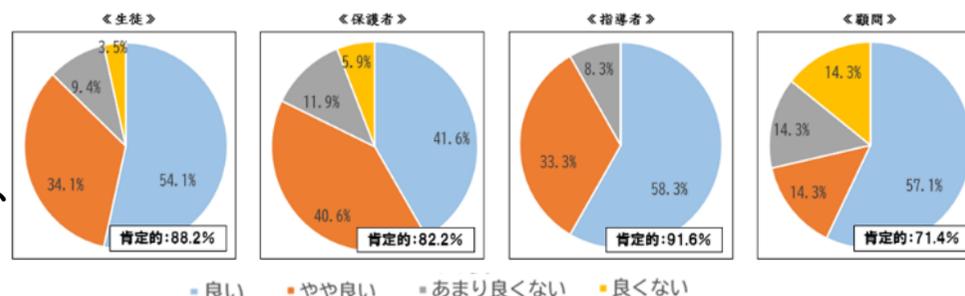
【目標及び検証方法】

- ・各競技団体等の指導者による休日の指導体制の構築
⇒ 生徒、保護者、指導者、教員向けアンケート「満足度(肯定的意見):60%以上」
- ・教員の勤務時間の削減
⇒ 担当顧問の休日の勤務時間が0時間

取組の成果

実施競技・部活動数が、令和4年度の1競技・1部活動から令和5年度は5競技・10部活動に増加し、将来の地域移行に向けて、学校と地域の連携体制をより強化することができた。参加生徒、保護者、指導者、顧問を対象としたアンケートの結果、右図の通り、肯定的意見を多くいただいた。

教員の勤務時間調査から、担当顧問の休日の勤務時間が、活動開始前の平均16.5時間から活動開始後は0時間となった。



令和5年度滑川市地域連携部活動に関するアンケート調査

特に工夫した事項

民間のアプリを活用して、生徒、保護者、指導者が活動状況の確認や出欠確認の効率化等を行うことで、「安心して子どもを参加させることができた」等、肯定的意見をいただいた。関係者間のつながりを深め、安全・安心な環境・体制づくりを進めることで、本事業の意義・目的の理解促進につながり、将来にわたって継続的に取り組む体制の土台となると感じた。

今後の課題と対応方針

競技によっては、顧問と地域指導者の連携が不足している面があった。学校と実施主体で地域連携・地域移行を進める意義・目的や指導方針等について、共通理解を図り、少子化の中でも将来にわたって子どもたちが当該スポーツに親しむための環境整備に向けて、地域が一体となった取組ができるよう努めたい。また、アプリ等を用いて関係者間での連携等を効果的に行っている競技の事例を共有して実践するなど、各取組の成果と課題からよりよい環境整備に向けて努めたい。

2. 実証内容と成果



取組内容

▼取組項目名:ウ:関係団体・分野との連携強化

取組事項

富山医療福祉専門学校との連携強化(学生指導者派遣、指導者研修会講師派遣)

【目標及び検証方法】

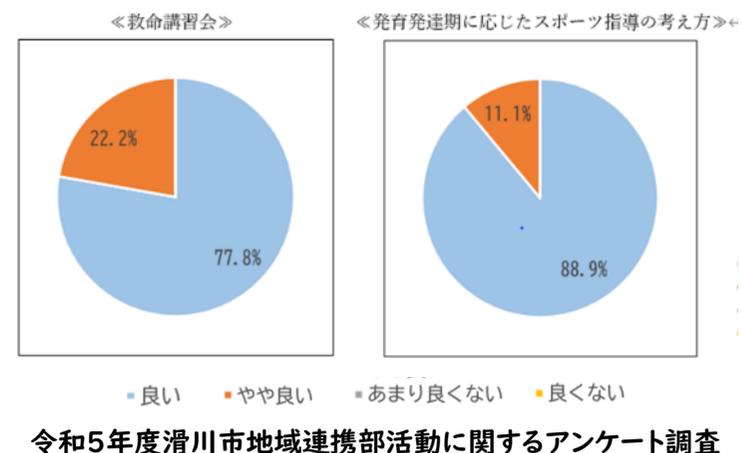
・指導者研修会の実施と内容充実

⇒ 参加者向けアンケート「満足度(肯定的意見):60%以上」

取組の成果

指導者研修会に参加した指導者を対象としたアンケートの結果、全員から肯定的意見な意見をいただいた。研修会の内容を「発育発達期に応じたスポーツ指導の考え方」と題し、中学生年代等、各年代・カテゴリーにおける心身の発育発達状況を考慮しながら個々に合った指導の在り方について学ぶことで、技術面や体力面、精神面等の様々な視点で子どもたちの成長を支えるとともに、指導者としての質の向上につなげられる良い機会となった。

学生指導者は、指導者バンクに登録した6名の内2名が本事業対象競技・部活動に派遣していただいた。メインコーチとしてではなく、アシスタントコーチとして地域の指導者のサポートを行ってもらい、実践経験を積むとともに、将来も継続的に指導に携わってもらうための人材発掘や競技団体等とのつながりの創出等、今後に向けたよい成果をあげることができた。



特に工夫した事項

本事業に限らず、地元の専門学校との連携・協力を行ってきており、本事業についての概要や目標等を共有させていただいた際に、学生・OB・OGへの指導者バンクへの登録募集や指導者研修会への講師派遣について、ご提案・ご協力いただくことにつながった。単発的なつながりではなく、継続的に関係を構築していくことが重要であると改めて実感した。

今後の課題と対応方針

指導者研修会の内容の充実を図るため、指導者が課題として感じていること等について整理し、研修会の充実と指導者の質の向上・保障につなげられるよう努めたい。また、他団体との連携も開始・強化し、更なる地域でのつながり創出と地域一体となった環境整備に向けて取り組みたい。

2. 実証内容と成果



参考資料(アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等)

令和5年度 滑川市中学校運動部活動の地域連携について

<国の方針>

少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要がある。

部活動の地域移行に当たっては、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備することが必要であり、地域の実情に応じた生徒のスポーツ活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要である。

<本市の現状>

○学校部活動の改革

市内両中学校において、令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁から示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、活動時間を厳守するなど、学校部活動の改革を進めており、教員の超過勤務時間の削減の成果が出ている。

少子化に伴う教員数の削減等により、担当部活動の競技経験、指導経験を有しない教員が顧問として配置されている部が多くなってきている。行政として、スポーツエキスパートを配置することで専門的な指導の支援を行ったり、部活動指導員を配置することで教員に代わる地域の指導者が指導や引率を行えるようにしたりするなど、教員の負担軽減の支援を行っている。

○児童・生徒数の推移予測 (R5.5.1 児童生徒数より)

	令和5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	15年度
滑川	509	492	488	476	539	548	※出生数より算出
早月	318	315	305	284	273	260	
計	827	807	793	760	812	808	682

令和8年度に、生徒数の大きな減少が予測されるが、令和10年度までは市内生徒数は概ね現状維持。しかし、早月中学校においては、減少傾向が続き、単独校としてのチーム編成が難しくなる可能性が高い。また、長期的な推移予測では、生徒数は大きく減少する見込みである。

子どもたちのスポーツ環境の維持のため、学校だけでなく地域として、その在り方を協議・検討していく必要がある。

○運動部活動の地域移行に向けたモデル事業(令和4年度実施)

令和4年度、市バドミントン協会の協力を得て、滑川中学校男女バドミントン部において、休日の部活動を協会の指導者を中心に担っていただき、部活動を学校、地域で連携、協力して実施する体制づくりに向けたモデル事業を実施した。

【成果】

- ・学校、顧問だけでなく、地域で子どもたちのスポーツ環境の維持、向上が可能。
- ・指導者を個人での固定ではなく、団体として確保することで、団体内で指導可能な指導者を派遣するなど、柔軟かつ持続可能性の高い活動・指導体制の構築が可能。

【課題】

- ・顧問、指導者間での指導方針、生徒理解等の共通理解を図るための連携は不可欠であるが、より効率的・効果的な方法を模索・検討する必要がある。

<令和5年度の取組>

令和4年度のバドミントンの例を参考に、更なる中学校運動部活動の改革を進めるため、新たに軟式野球、ソフトボール、バスケットボール、陸上競技を加えた5競技で、学校を含む地域で子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の維持・向上に向けた実証研究を行う。

【令和5年度方針等(抜粋) 協議会①資料】

1 目指す地域部活動像

—自主的・自発的にスポーツ・文化的活動に親しみ、活力ある社会、絆の強い社会を創る—

(1)部活動の意義

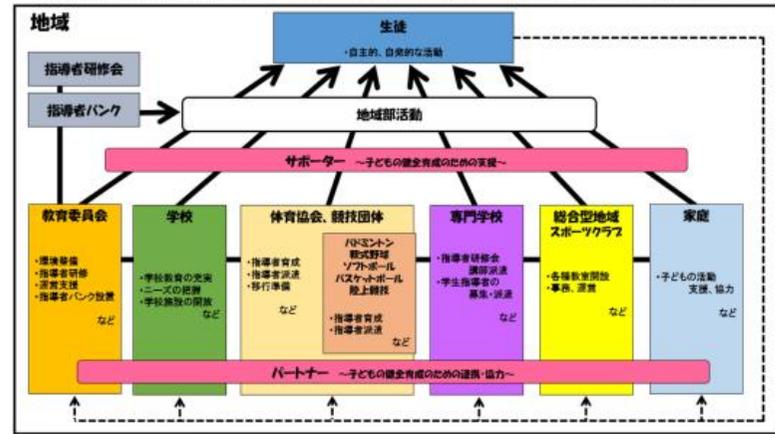
学校の部活動は、学校教育の一環として、スポーツや文化及び科学等に興味と関心をもつ生徒の自主的・自発的な参加により行われ、体力や技能等の向上を図る目的以外にも、同じ目的を持った仲間と学級や学年を越えて活動することで、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きく、生きる力の育成、豊かな生活を実現させる役割を担ってきた。地域部活動においても、部活動の位置付け、教育的意義、生徒の発達段階に応じた科学的な指導、安全の確保や事故発生後の対応を適切に行うこと、生徒の人格を傷つける言動や体罰はいかなる場合も許されないことを遵守し、その役割を果たすことが大切である。

(2)地域で支え、育てる部活動の体制

部活動の教育的意義や役割等を十分に理解した上で、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができる環境を整備し、生徒が主体となり、自主的、自発的に活動に取り組むことができる機会を確保することが重要である。そのため、行政、学校、スポーツ団体等の理解と協力のもと、地域におけるスポーツ、文化的活動環境を整備し、活動に取り組む生徒を支え、育てる体制作りが不可欠である。

“地域で支え、育てる”滑川市型地域部活動 グランドデザイン2023

～自主的・自発的に継続してスポーツ・文化的活動等に親しむことができる環境・機会の確保・充実～

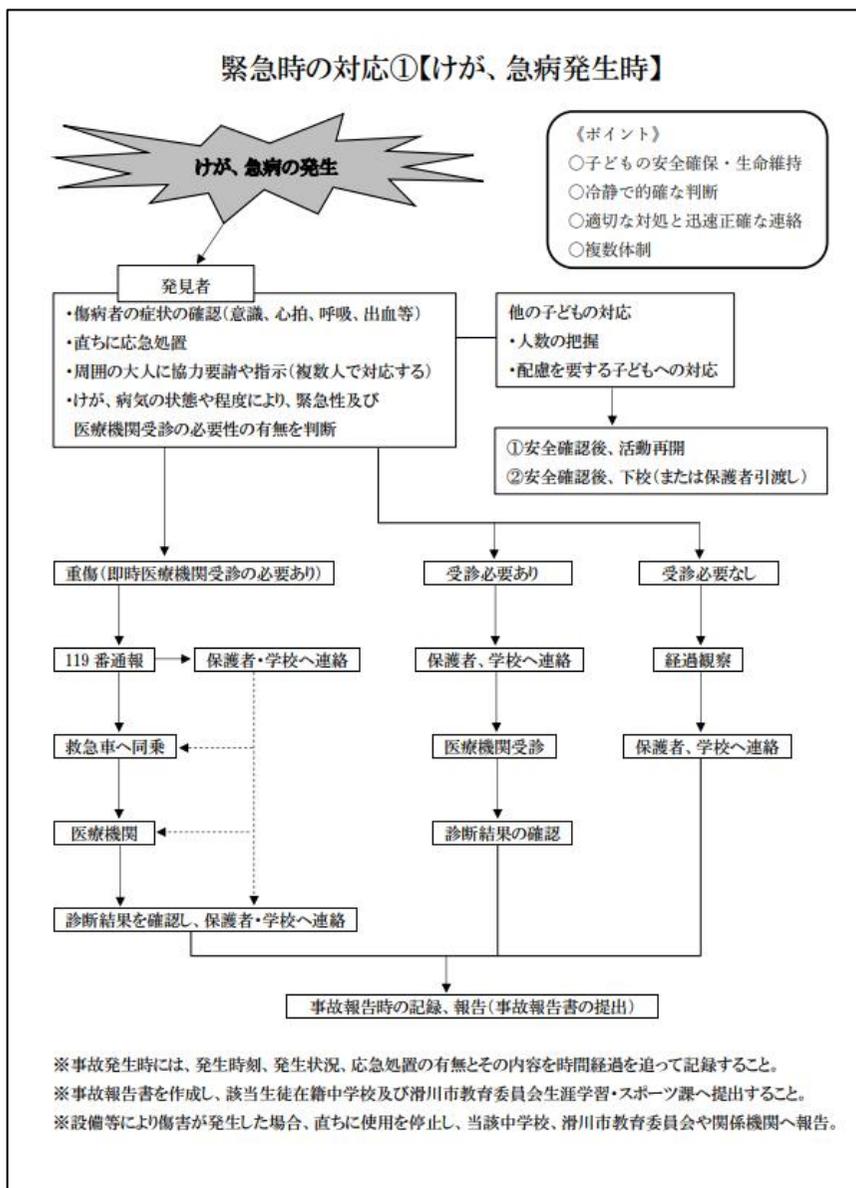


【滑川市地域部活動指導者心得(抜粋) 協議会①資料】

2. 実証内容と成果



参考資料(アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等)



【滑川市地域部活動緊急時対応マニュアル(抜粋) 協議会①資料】

富山医療福祉専門学校の学生、OB・OGの皆様

スポーツを通じて子どもたちと感動をともに

滑川市スポーツ指導者バンク

2023年 START

【募集対象者】
スポーツ指導に興味のある方、子どもが大好きな方

【募集競技(9競技)】
①陸上競技 ②軟式野球 ③ソフトボール ④サッカー ⑤ソフトテニス
⑥バスケットボール ⑦バレーボール ⑧バドミントン ⑨卓球

【登録、マッチングの流れ】
I. 下記 Logo フォームによる登録申請。※情報は公開せず、市教委で厳重に管理します。
II. 中学校からの問合せ内容に応じて、市教委から登録スポーツ指導者に依頼。
III. 中学校と登録スポーツ指導者のマッチング。
※部活動の意義を継承するとともに、指導方針、指導内容等を十分に協議した上で指導に当たっていただきます。謝金等についても協議の上、決定します。(1時間 1,000円程度の予定)

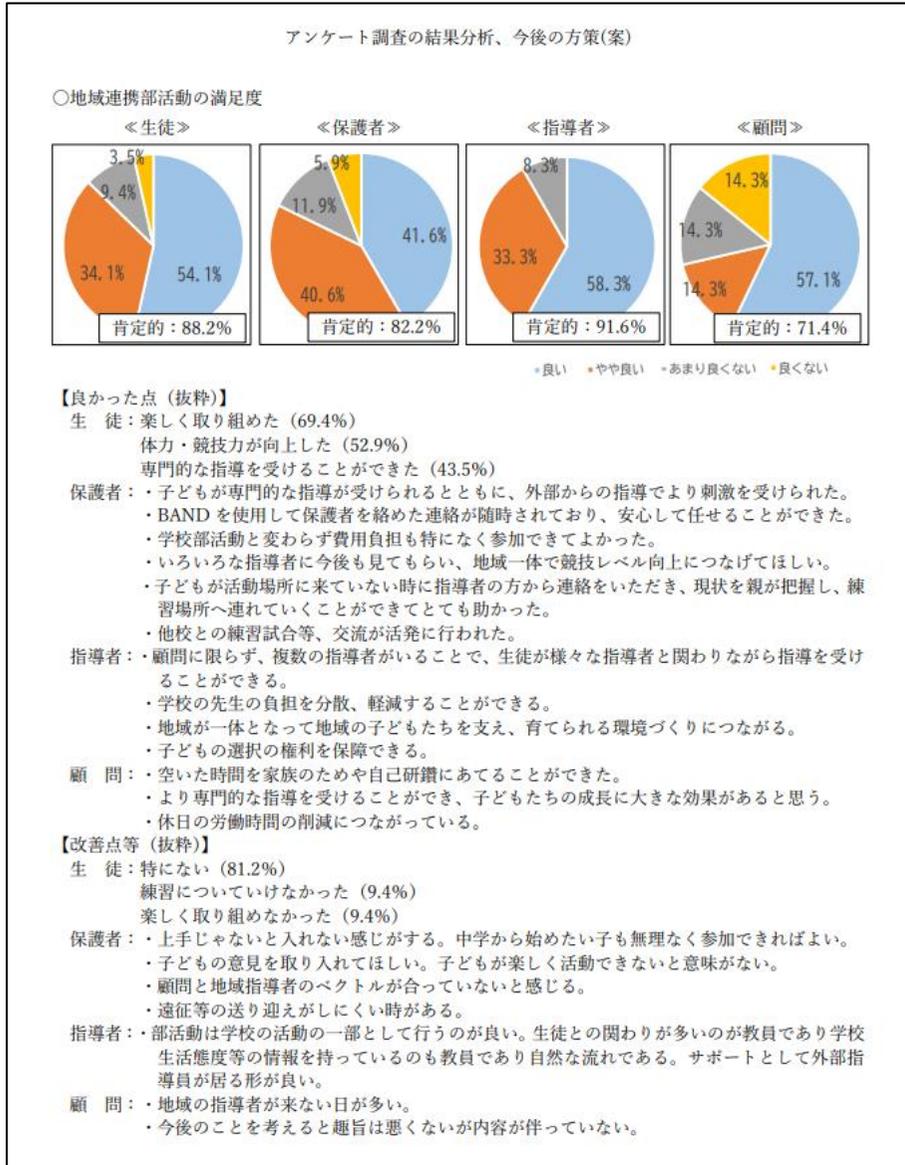
お問い合わせは、左記 QR コードからお願いします。
滑川市教育委員会生涯学習・スポーツ課

【指導者バンク】

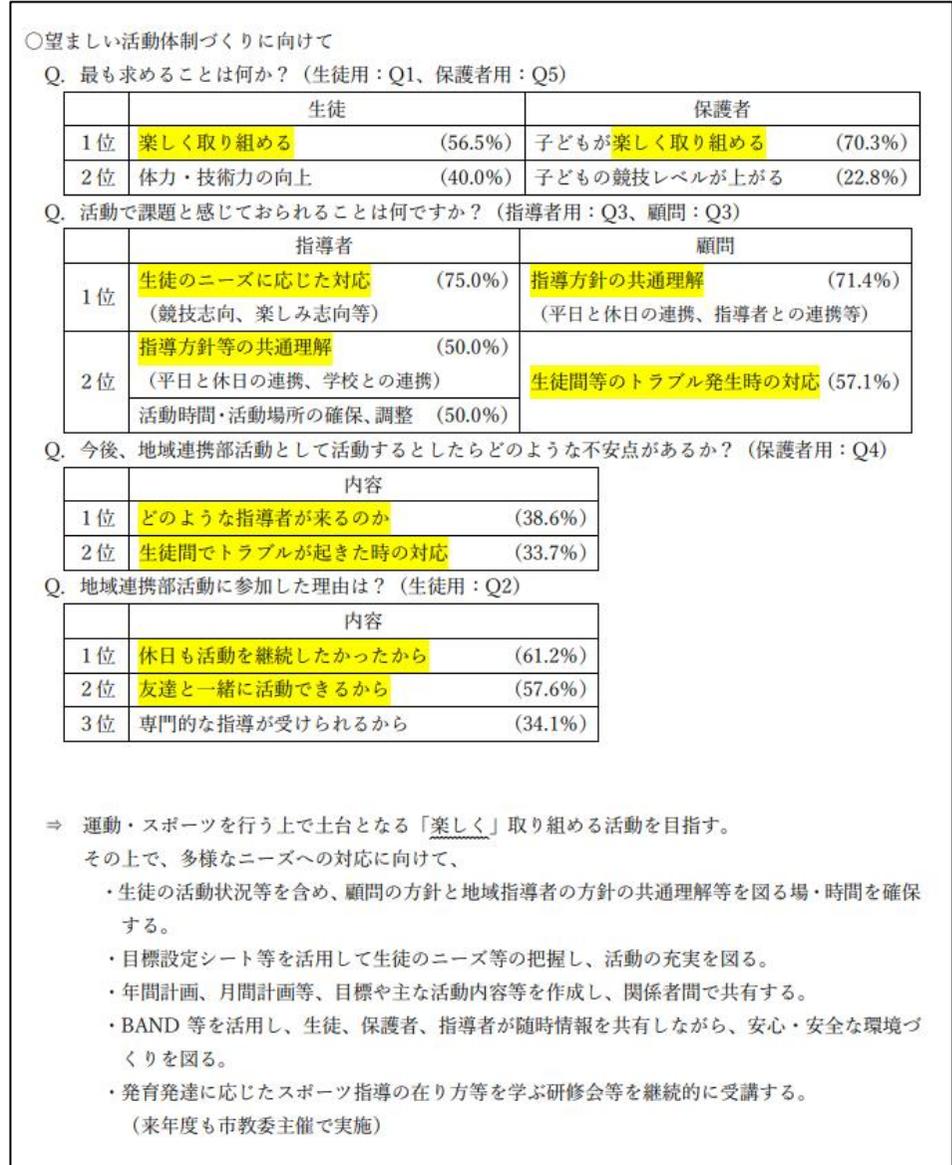
2. 実証内容と成果



参考資料(アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等)



【アンケート調査の結果分析、今後の方針(案) 協議会②資料】



【望ましい活動体制づくりに向けて 協議会②資料】

2. 実証内容と成果



参考資料(アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等)



滑川市地域連携部活動・地域クラブ活動について (R6.4月～)



地域連携部活動

地域連携部活動とは、
 “部活動に各競技協会員等から指導者を派遣していただき、学校と地域が連携して指導を行う部活動”です。
 ※平日は「学校部活動」として、休日は「地域部活動」として活動します。
 ※「地域部活動」に参加されない場合は、原則、平日の「学校部活動」のみに参加となります。

【対象生徒】下記の地域連携部活動対象一覧をご覧ください。
 【活動場所】市内中学校の体育施設、市内体育施設です。
 【活動時間】部活動顧問と地域指導者が連携を取り、調整・決定します。(日中の3時間程度)
 【指導体制】平日(学校部活動)は、「部活動顧問(教員)」
 休日(地域部活動)は、「各競技協会員等の地域指導者 ※兼職兼業の教員も含む」となります。
 【大会出場】《中体連主催大会(新川地区大会⇒県選⇒北信越大会⇒全中、新川地区新人大会等)》
 出場方法：これまで通り、学校代表として出場します。
 引率責任者：部活動顧問(教員)や部活動指導員が引率します。
 《中体連以外の団体等が主催の大会》
 出場方法：地域部活動として出場します。
 引率責任者：地域部活動の指導者が引率します。
 【参加費用】令和6年度は、国・県の補助や市の財源を活用し、原則、参加者の新たな負担はありません。
 ただし、地域部活動のみにかかる消耗品、備品使用料等は、参加者でご負担いただきます。
 ※学校部活動で使用している用具等も活用し、新たな用具購入はできる限り少なくします。
 ※継続的な活動・体制の維持・向上のため、今後の参加者負担について検討中です。

『地域連携部活動対象一覧 (R6)』

競技名	対象生徒				備考
	滑川中(男子)	滑川中(女子)	早月中(男子)	早月中(女子)	
バドミントン	○	○	△	○	
バスケットボール	○	○	○	○	新チーム体制(8月頃)より、地域クラブ活動化(予定)
軟式野球	○	○	△	△	滑川中のみ
ソフトボール	△	○	△	△	女子のみ
陸上競技	○	○	○	○	
バレーボール	○	○	△	○	
ソフトテニス	○	○	○	○	

○…練習、全大会に参加可能。
 (現行の学校部活動に設置済みの部活動)
 △…練習に参加可能。大会は中体連主催以外の大会は参加可能。
 (現行の学校部活動に設置されていないが、地域部活動として新たに生徒を受入)
 /…対象外のため、受入なし。

地域クラブ活動(市教委認定)

地域クラブ活動とは、
 “学校部活動とは別に各競技協会等が組織するクラブ等が運営するクラブ活動”です。
 ※「地域クラブ活動」だけでなく、「学校部活動」にも所属して両輪での活動が可能です。

【大会出場】県中体連の大会参加認定を受けているため、中体連主催の大会も学校ではなく、クラブとして出場します。大会の引率責任者は、クラブ指導者です。
 【その他】「対象生徒」、「活動場所」、「活動時間」、「参加費用」等は、下記のクラブ概要をご覧ください。詳細は、クラブ連絡先にお問い合わせください。

『地域クラブ活動概要』

滑川市剣道協会
 【対象生徒】滑川中学校・早月中学校の女子生徒
 【活動場所】主に市総合体育センター剣道場
 【活動時間】水・金 19時～20時40分
 【参加費用】スポーツ安全保険 800円
 大会参加料は参加者負担
 【連絡先】
 【その他】中体連大会に参加しています
 初心者大歓迎です

NBC(男子)、NBC(女子)
 【対象生徒】滑川中学校・早月中学校の生徒
 【活動場所】主に市内中学校体育館
 【活動時間】原則、休日いずれかの日中3時間
 【参加費用】なし
 【連絡先】男子
 女子
 ※新チーム体制(8月頃)より、活動予定

国は、将来にわたり生徒がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、令和5年度から令和7年度を「改革推進期間」として、休日の中学校運動部活動の地域連携・地域移行をできるだけ速やかに取り組むとしている。また、「地域の子もたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備し、地域の実情に応じた生徒のスポーツ活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要であると示している。

そこで、滑川市では、令和4年度より国の実証事業を活用し、本市の子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の整備に向けて、各競技協会等の協力を得ながら、検証・検討を進めています。

本市の現状として、少子化に伴い、「部員数の減少によってチーム編成等ができない」、「教員数の削減によって部活動顧問の配置ができず、部活動を廃部せざるを得ない」等、学校だけでなく、地域全体で、子どもたちの部活動等の運動・スポーツをする環境を整備・保障することが必須な状況です。また、市内中学校の生徒数は、R5年は827名、R10年は808名、R15年は682名と残念ながら減少は止まらない状況です。(R5年児童生徒数、出生数より推移予測)

2. 実証内容と成果



参考資料(活動写真)



【バドミントン】



【バスケットボール】



【軟式野球】



【陸上競技】



【指導者研修会 スポーツ理論】

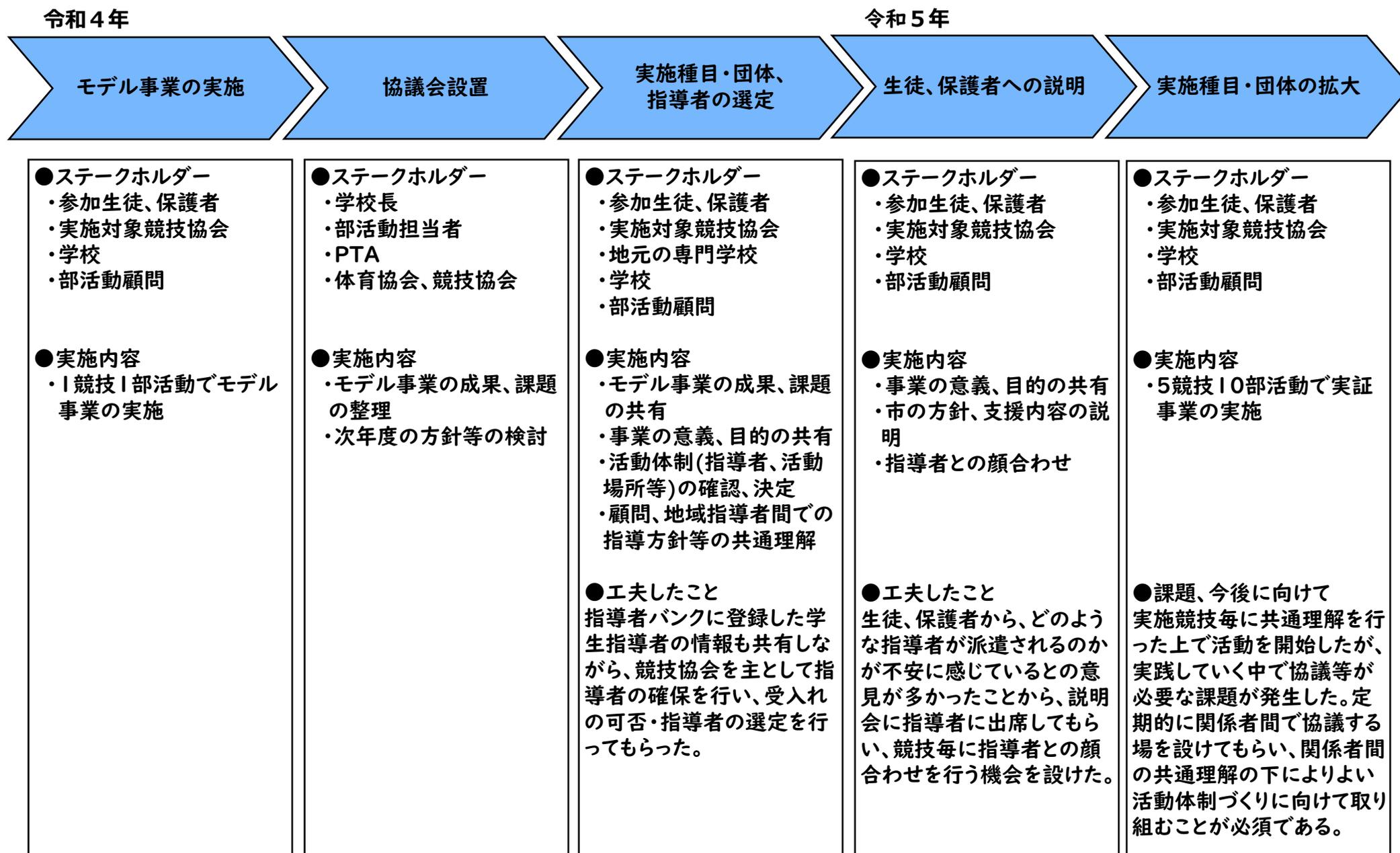


【指導者研修会 救命講習】

2. 実証内容と成果



地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性



地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

滑川市教育委員会 運動部活動の地域連携・地域移行スケジュール(案)

